



遠賀中間医師会

2019年8月30日発行

第7号

在宅総合支援センターだより

遠賀中間地域 在宅医療・介護連携推進事業



令和元年度在宅医療・介護連携推進事業の取り組み

在宅総合支援センターでは今年度も引き続き、遠賀中間地域在宅医療・介護連携推進事業に取り組みます。

超高齢社会にある日本では、65歳以上の単独世帯や夫婦のみの世帯が、今後増加していくことが予測されています。そのため、医療や介護を受ける人の割合が増加していくことが考えられ、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援がより一層求められます。

遠賀中間地域において安心して療養することができ自分らしく暮らすことができるために、在宅医療・介護にかかわる事業者間の連携を図り、多職種間の相互理解や情報共有の支援を行います。また、相談窓口での相談業務、地域住民を対象にした住民公開講座、チラシやホームページ等を活用して、在宅医療・介護に関する普及啓発を行います。在宅医療や介護サービスに関することや看取り等についての出前講座、在宅医療・介護従事者への研修会を引き続き開催いたします。

医療・介護資源リストについて

在宅総合支援センターでは、遠賀中間地域の医療・介護資源の情報を収集してリストを作成しています。情報は適宜更新し、ホームページ上で公開しています。

◎遠賀中間地域医療・介護事業所の皆様へお願い

各事業所におきまして、資源リストの掲載内容に変更等が生じた場合は、資源リスト運用マニュアルに則って、資源リストの更新を行ってください。

更新手順：①各事業所は「在宅医療介護連携資源リスト届出書」を使用して、所属長(資源リスト管理者)へFAXまたはデータ送信を行う。②所属長(資源リスト管理者)は、各事業所から受領した「在宅医療介護連携資源リスト届出書」の情報を基にデータの更新を行う。資源リストに誤りがないか確認して更新日を記載したうえで、更新Excelデータを在宅総合支援センターへデータ送信する。送信は随時可能。③在宅総合支援センターは、当月末に集約して翌月5日までに在宅総合支援センターのホームページにPDF化した更新データを掲載する。

医療・介護関係者の研修

7月10日(水)、ケアマネジャーと介護職のためのスキルアップ講座を開催しました。福岡県栄養士会 理事 管理栄養士・臨床栄養師 長江 紀子 先生を講師にお招きして、食と栄養をテーマに「食べる幸せ」を支える！～多職種との連携～について講演をしていただきました。高齢者の栄養問題、機能を維持するための食事と食習慣、在宅療養者の食生活&レシピについて、実践的で大変分かりやすく教えていただきました。

<参加された方々から声>

「高齢者の栄養評価の視点とアドバイスについて学びました」「栄養と水分が大事だとあらためて知ることができました」「料理の苦手な方も簡単にできるレシピは参考になります」などの感想が寄せられています。

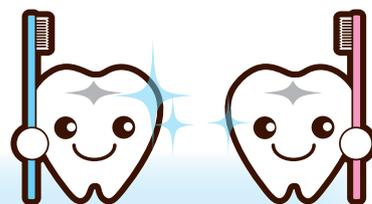


特集コーナー

今回は「遠賀中間歯科医師会」「遠賀・中間薬剤師会」の取り組みについてご紹介いたします。

遠賀中間歯科医師会

遠賀中間歯科医師会の取り組み



～お口のケアサポート研究会について～

遠賀中間歯科医師会では約10年に渡り、お口のケアサポート研修会を開催しています。今年3月21日(木・祝)午後2時より水巻町いきいきほーるで、同研究会を開催しました。参加者は看護師、ケアマネージャー、介護職などの多職種を対象にして63名でした。講師は東京都健康長寿医療センター研究所、自立促進と精神保健研究チーム、認知症と精神保健研究員で歯科医師の枝広あや子先生で「認知症の人が食べられないってどういうとき？在宅認知症高齢者の食の支援と口腔管理の基礎知識」という演題で講演をしていただきました。講演では、認知症のアルツハイマー型や脳血管型、レビー小体型の分類のそれぞれの症状について詳しく説明していただきました。それぞれ中核症状と周辺症状がある事、各分類ごとに食事介助時の注意点やポイントを教えていただき、参加者からは大変分かりやすく、ためになったと好評でした。

食事環境では音や光、配膳では量、色、姿勢に留まらず、精神面にも配慮が必要との話もありました。さらに家族との関係も疎かにできませんと気づきにくい点も教えていただきました。我々は歯科医師も含め、さらなる配慮研鑽が必要と感じる講演でした。遠賀中間歯科医師会では、今後もお口のケアサポート研修会を継続し、少しでもみなさんのお役に立てればと考えております。



枝広あや子先生によるお話し



いきいきホールでの研究会の様子

在宅医療における薬剤師会の取り組み

患者さま、ご家族からの依頼・主治医・看護師・ケアマネジャーの提案

主治医の訪問指示

薬剤師の訪問開始

1日6回の服用で本人管理困難

お薬カレンダーはiraない

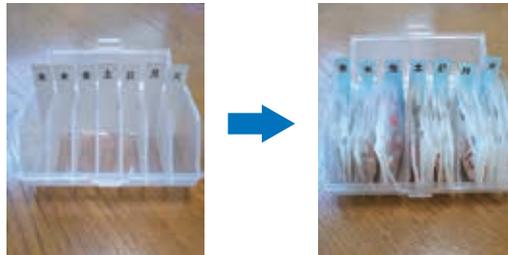
箱に1日分入れる



日付順に並べ飲みやすくする

毎日の薬と週に1回の薬があり忘れがち

1週間分箱にセットし、該当曜日に入れる



訪問後、主治医・ケアマネジャー・訪問看護師に報告書を提出



本人の状態・希望・残薬状況などを報告し、
情報共有をして連携する

ご相談は、お近くの調剤薬局へどうぞ。

遠賀・中間薬剤師会ホームページでも訪問可能な薬局を探すことができます。

遠賀・中間薬剤師会 電話：093-281-2221



“出前講座”を行っています

地域の公民館や地域交流センターなどへ、在宅総合支援センターの職員がお伺いし「在宅医療について」の出前講座を行っています。



中間イオン、にじいるカフェにて

- 参加者：19名
- 年 齢：40～90歳代

印象深かった内容

在宅医療について・音楽療法



遠賀町若松公民館にて

- 参加者：24名
- 年 齢：50～80歳代

印象深かった内容

在宅医療とは・在宅医療でできること



岡垣町鍋田公民館にて

- 参加者：38名
- 年 齢：60～80歳代

印象深かった内容

在宅医療について
認知症・フレイルについて

今後の予定

多職種研修会

【日 時】10月24日(木)19時～20時30分 開催予定
【テーマ】クレーム対応とリスクマネジメント(仮)
【場 所】遠賀郡水巻町下二西二丁目1-33
遠賀中間医師会館 多目的ホール

住民公開講座

11月4日(月・振休)
13:30～16:00

入場
無料

●テーマ

訪問診療

～自宅にいたいという希望を叶えるために～

●場 所

芦屋町町民会館 大ホール
遠賀郡芦屋町中ノ浜11番6号

【基調講演】

「住み慣れた家で安心して療養するために
～最期まで過ごせる地域づくり～」

医療法人 白髭内科医院 院長 白髭 豊 氏

【パネルディスカッション】

遠賀中間地域における訪問診療の

『いま』と『これから』

座長：遠賀中間医師会病院統括院長 杉町 圭蔵 氏

【パネリスト】

白髭 豊 氏、末廣 剛敏 氏、葉 倫建 氏、楠本 拓生 氏

在宅医療に関する相談窓口について

在宅総合支援センターには在宅医療・介護に関する相談窓口があります。お電話での相談も行っています。常時専門のスタッフがおりますので、お気軽にご相談下さい。

在宅医療相談窓口

受付時間 月～金曜日
9時～16時

電 話 093-281-3100

FAX 093-281-3105



在宅医療に関する医療機器整備(無料貸出)

当センターでは、在宅医療に使用する医療機器、研修用シミュレータを医療機関及びサービス事業所に無料貸し出しを行っています。借用の手続きや貸出物品などの詳細は在宅総合支援センターのホームページをご覧ください。

<医療機器貸出物品>

- ◎ ポータブル吸引器
- ◎ ポータブル吸入・吸引両用器
- ◎ 点滴スタンド
- ◎ 自然落下式輸液ポンプ
- ◎ PCAポンプ
- ◎ カフティポンプ
- ◎ カフ圧計
- ◎ 血液ガス分析器(携帯用)
- ◎ もの忘れ相談プログラムなど



発行 遠賀中間地域 在宅医療介護連携推進協議会
遠賀中間医師会 在宅総合支援センター

〒811-4342 遠賀郡遠賀町大字尾崎1725番地2

TEL 093-281-3100 FAX 093-281-3105

URL : <http://www.onnaka-med.or.jp/zaitaku/>